

6. 遊漁船の衝突相手船の状況(遊漁船の航行状態別)

航行中の遊漁船に衝突した相手船の隻数、及び漂流又は錨泊中の遊漁船に衝突した相手船の隻数はそれぞれ以下のとおりです。

航行中の遊漁船に衝突した相手船はプレジャーボートが最も多いのに対し、漂流又は錨泊中の遊漁船に衝突した相手船は漁船が最も多くなっています。また、相手船 63 隻のうち 47 隻は漂流又は錨泊中の遊漁船に気付いていませんでした。(表3参照)

表3 遊漁船の衝突相手船の状況

船舶種類	航行中の遊漁船に衝突した相手船隻数	漂流又は錨泊中の遊漁船に衝突した相手船隻数	うち、遊漁船に気付いていなかった相手船隻数
漁船	33隻	30隻	23隻
遊漁船	19隻	13隻	9隻
プレジャーボート	131隻	11隻	9隻
貨物船	13隻	6隻	4隻
タンカー	7隻	2隻	1隻
その他	10隻	1隻	1隻
計	213隻	63隻	47隻

漂流又は錨泊中の遊漁船に気付いていなかった相手船の大部分を漁船、遊漁船、プレジャーボート(上表3参照)が占めており、その衝突時の状況は、それぞれ以下のとおり(遊漁船についてはP4参照)で、漁船、プレジャーボートにおいても、見張りが適切に行われていないことが分かります。

漁船(23隻)

死角を補う見張りを行っていなかった	5隻
漁獲の確認や漁具の補修など、他の作業をしていた	5隻
自船の他に船はいないと思い込んで航行した	3隻
航海計器などを見ながら航行していた	3隻
その他	4隻
不明	3隻

漁船や魚釣りのプレジャーボートは、魚を求めて遊漁船と同じ海域に集中しがちですが、これらの船も、見張りが適切に行われていないことがあります。特に、漁船は、航行しながら漁獲の確認等をしていることがありますので、そうした点を気に留めておきましょう。

プレジャーボート(9隻)

魚群探知機で釣り場を探すなどしていた	2隻
居眠りをしていた	2隻
死角を補う見張りをしていなかった	1隻
他船に目を向けて操船していた	1隻
その他	2隻
不明	1隻

